

平成28年度 教育改革ICT戦略大会

私的デバイスを活用する 多様な端末に対応した 情報リテラシー教育

北海道科学大学短期大学部 自動車工業科
亘理 修

Contents

1. 本学の概要ー背景
2. 科目「情報処理法」でのBYOD利用
3. まとめと課題

北海道科学大学短期大学部

1953_年 開学 | 北海道自動車短期大学

日本初の自動車専門高等教育機関

2014_年 名称変更

+Professional

2015_年 校地移転

北海道科学大学 北海道科学大学短期大学部

北海道薬科大学 北海道薬科大学附属薬局

北海道科学大学高等学校 北海道自動車学校



北海道科学大学短期大学部

□自動車工業科 150名

4コース | 2014年度～

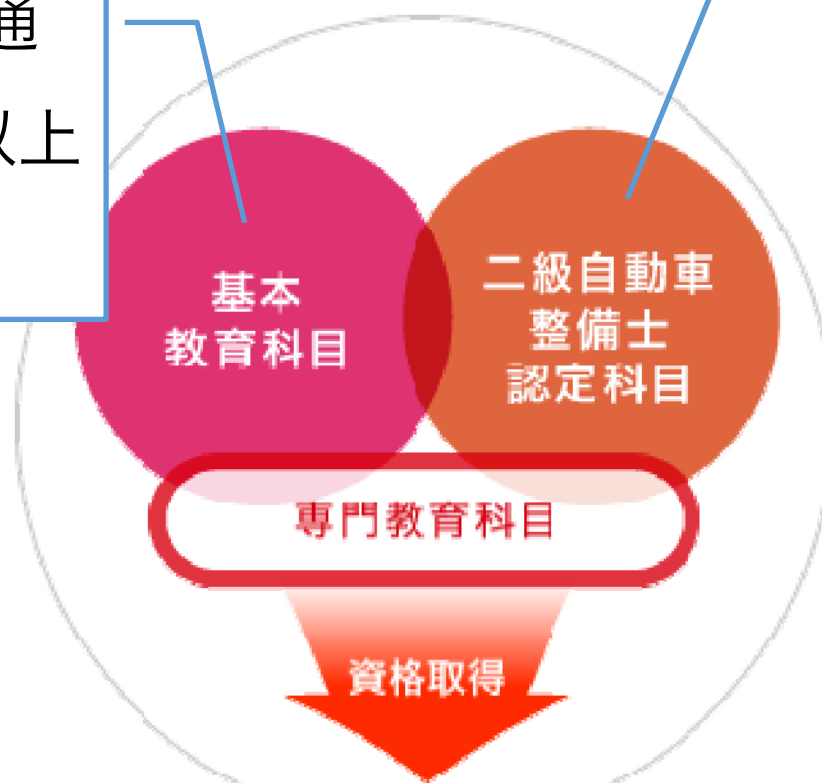
自動車整備 技術開発

損害保険 マネジメント

□専攻科 | 車体工学専攻 25名

カリキュラム

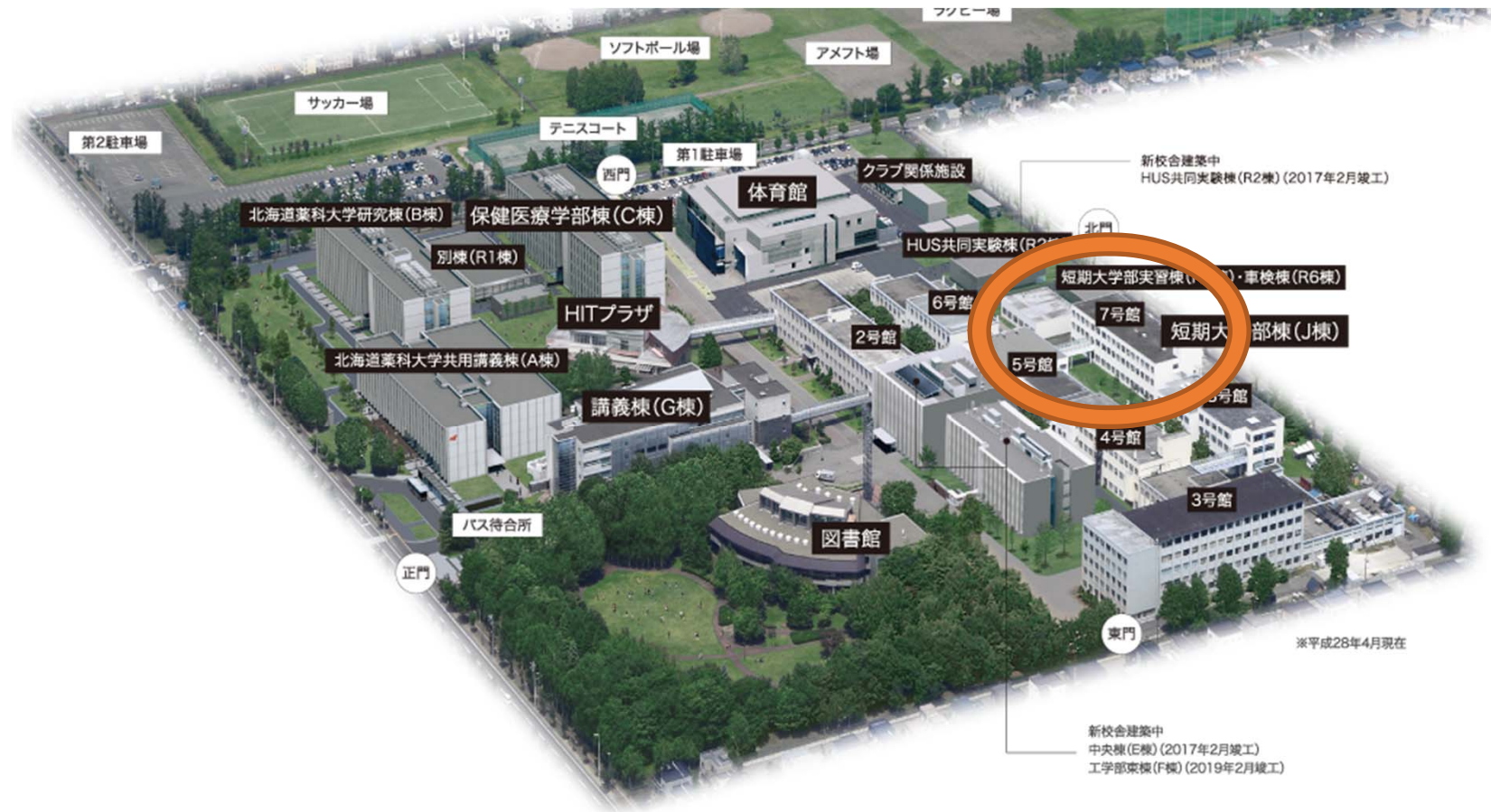
併設大学と共通
選択 5単位以上
開講 12科目



必修 52単位
講義36単位
実習16単位

自動車業界で活躍できる人材に

前田キャンパス



モバイルキャンパス（2001年～）

The screenshot displays the official website of Hokkaido University of Science Junior College. At the top left is the university's logo, which includes a stylized red and white emblem and the text "北海道科学大学 北海道科学大学短期大学部 +Professional". To the right of the logo is a search bar with the text "Google™ カスタム検索". Below the header is a navigation menu with links: "大学総合案内", "学部・学科", "大学院", "入試情報", "就職情報", "図書館・情報施設", "キャンパスライフ", and "産学・地域連携". Underneath this menu is a secondary navigation bar with links for different user groups: "受験生の方", "在学生の方", "保護者の方", "卒業生の方", "企業・一般の方", and "教職員の方". The main content area features a large banner with a blue and green background. On the left side of the banner is a red box with the text "モバイルキャンパス". In the center of the banner is a graphic of a tablet displaying the "HUSNAVI" mobile application interface, which includes a calendar and various navigation icons. On the right side of the banner is a white box with the text "キャンパスライフ" and "CAMPUS LIFE". Below this text is a red box with the text "モバイルキャンパス", followed by a list of links: "クラブ紹介", "キャンパスカレンダー", "学生生活サポート", "協学会", "夢プロジェクト", and "国際交流". At the bottom of the page is a red box with the text "情報サイトの活用".

北海道科学大学
北海道科学大学短期大学部
+Professional

Google™ カスタム検索

大学総合案内 学部・学科 大学院 入試情報 就職情報 図書館・情報施設 **キャンパスライフ** 産学・地域連携

受験生の方 在学生の方 保護者の方 卒業生の方 企業・一般の方 教職員の方

**モバイル
キャンパス**

キャンパスライフ
CAMPUS LIFE

モバイルキャンパス

クラブ紹介
キャンパスカレンダー
学生生活サポート
協学会
夢プロジェクト
国際交流

情報サイトの活用

本学は、いつでもどこでも学生と大学が双方向で情報を利用できる「モバイルキャンパス構想」による環境整備に力を入れています。すべての学生がノートパソコンを所有し、学生生活のあらゆる場面で利用することにより、情報メディアを使いこなす力を身につけることができます。

背景

- 情報リテラシー科目の新設
- 移転に伴う学内PC削減
- 学生へのPC購入の強制は不可能



スマートフォン・タブレットの利用

科目「情報処理法」での BYOD利用

「情報処理法」の概要

- 対象 1年生前期
- 分野 基本教育科目
- 単位 1単位
- 形式 講義＋演習
- 内容 情報収集－データ集計・加工－
レポート－プレゼンテーション

Microsoft Office 365

Word / Excel / PowerPoint etc.



PC・タブレット・スマートフォン
各5台まで利用可能

Microsoft Office 365

タブレット・スマートフォンでの制限

- Word

スタイル アウトライン

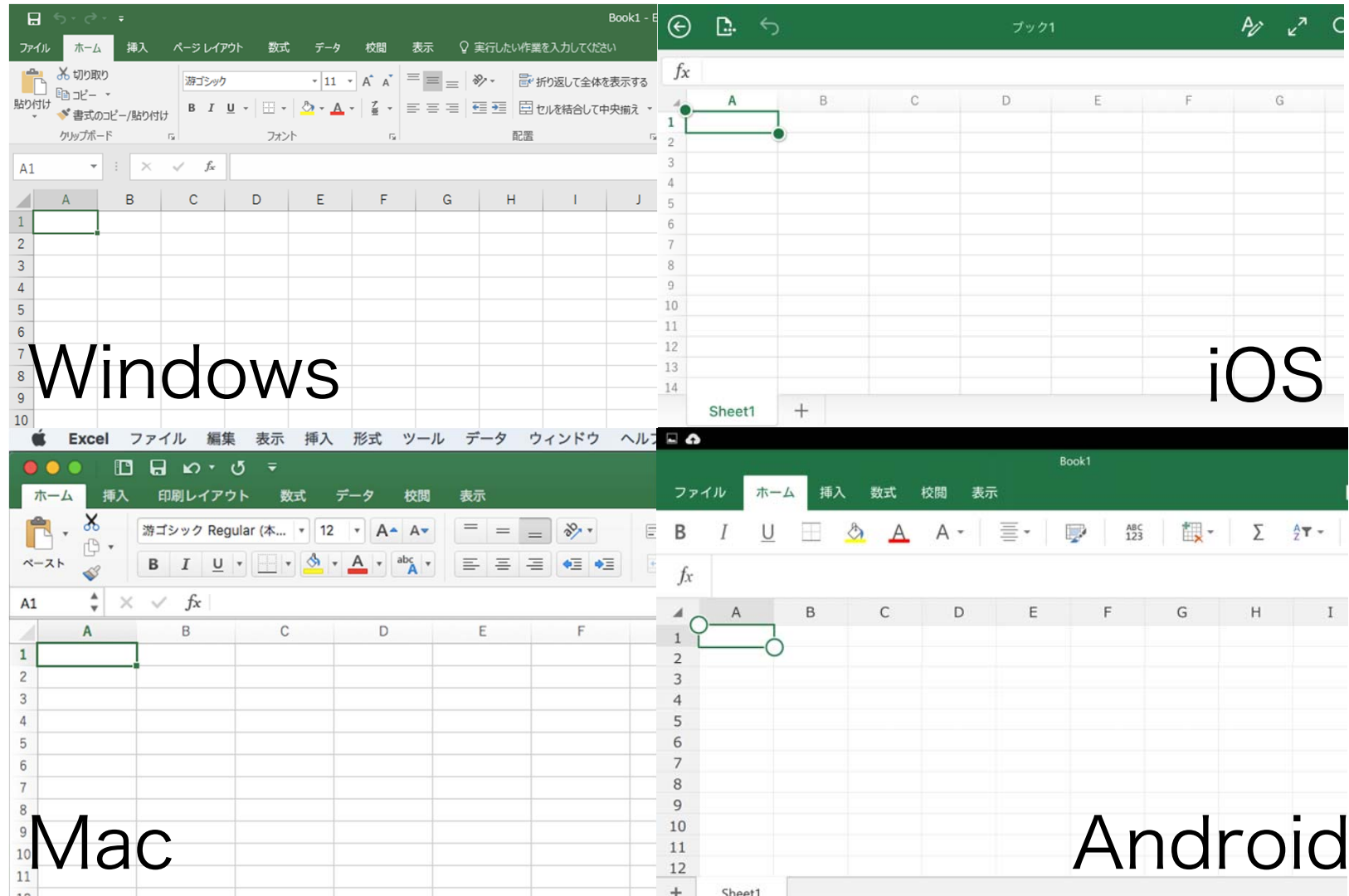
- Excel

条件付き書式 ピボットテーブル

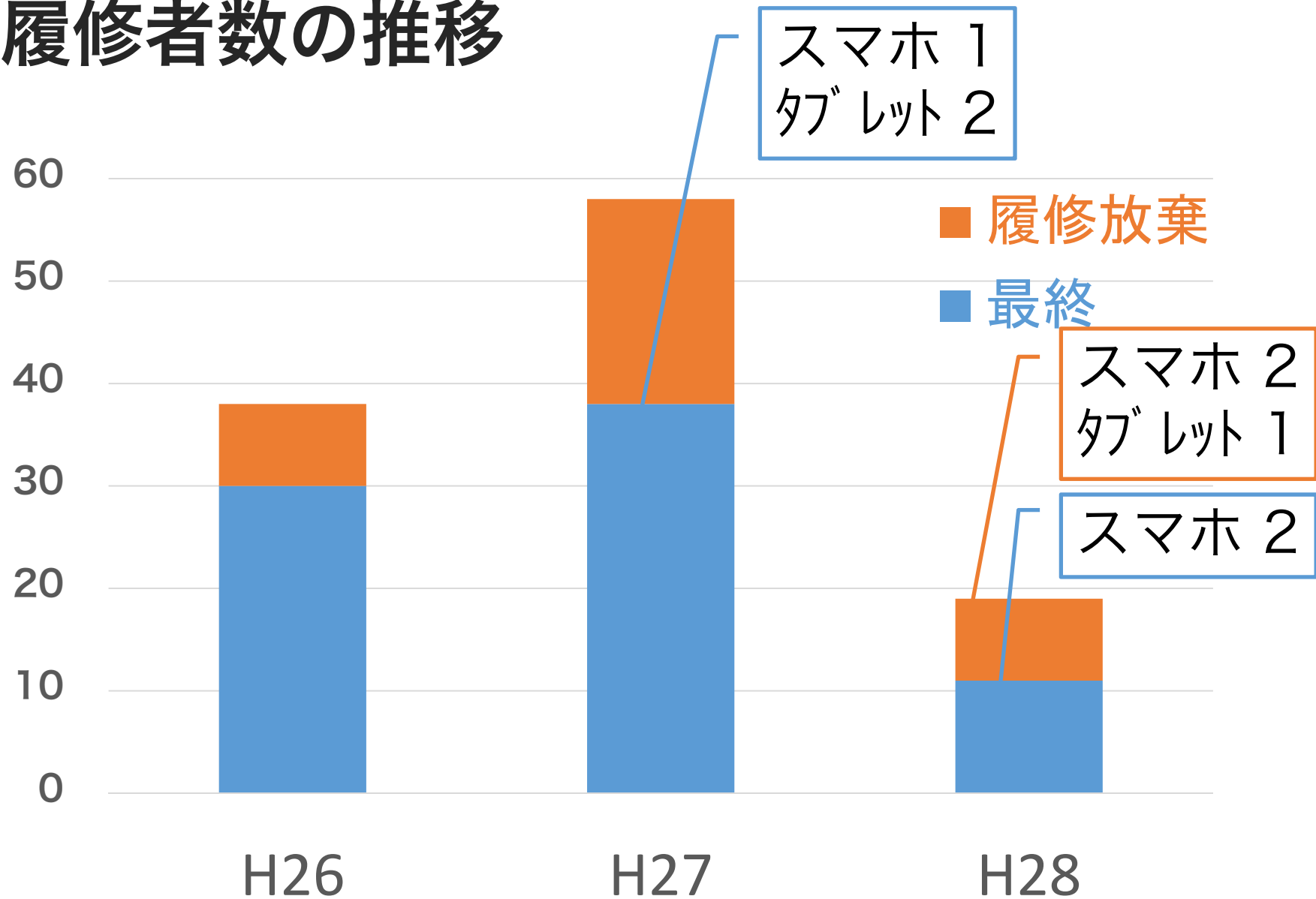
- PowerPoint

グラフ アニメーション

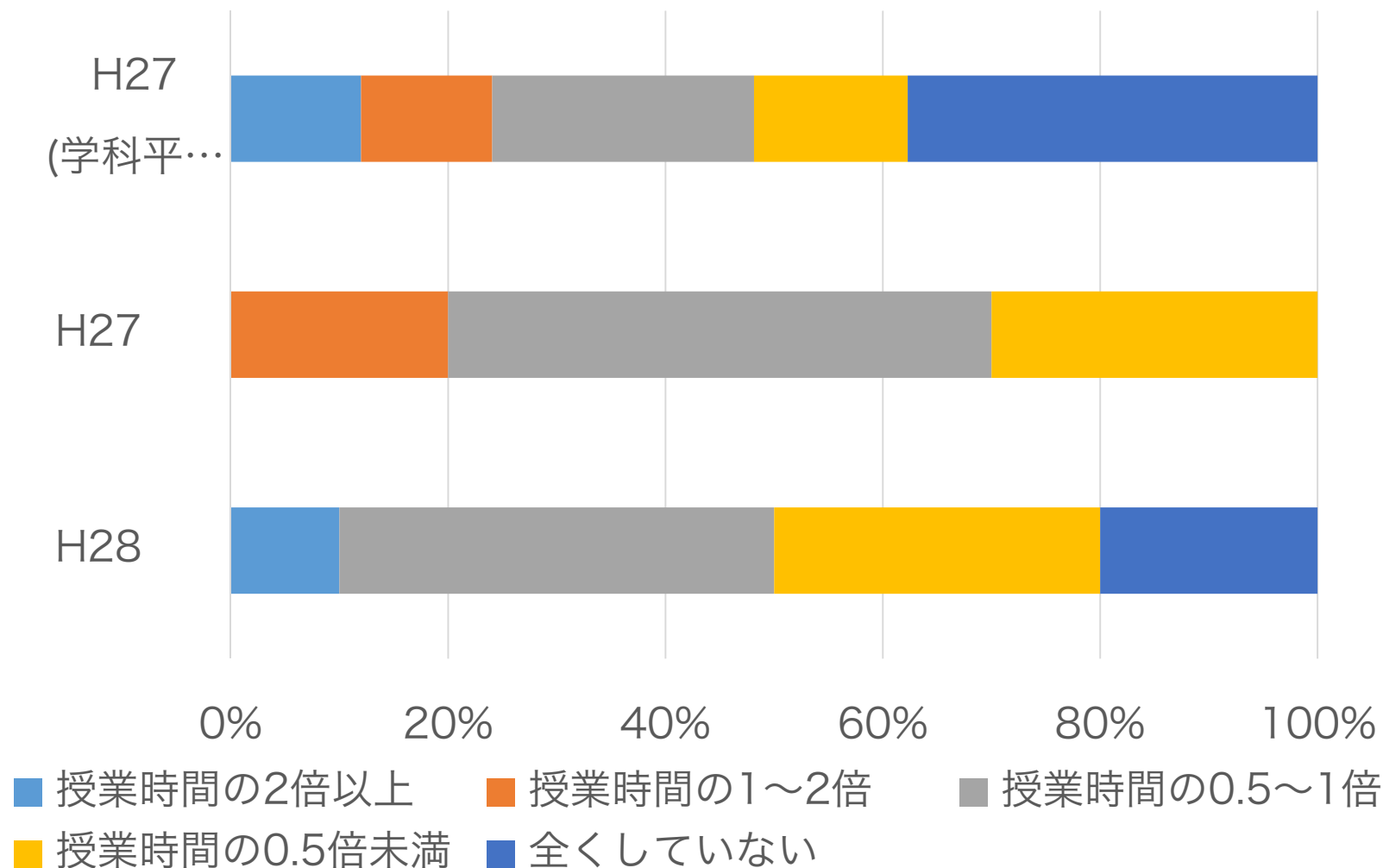
画面の比較



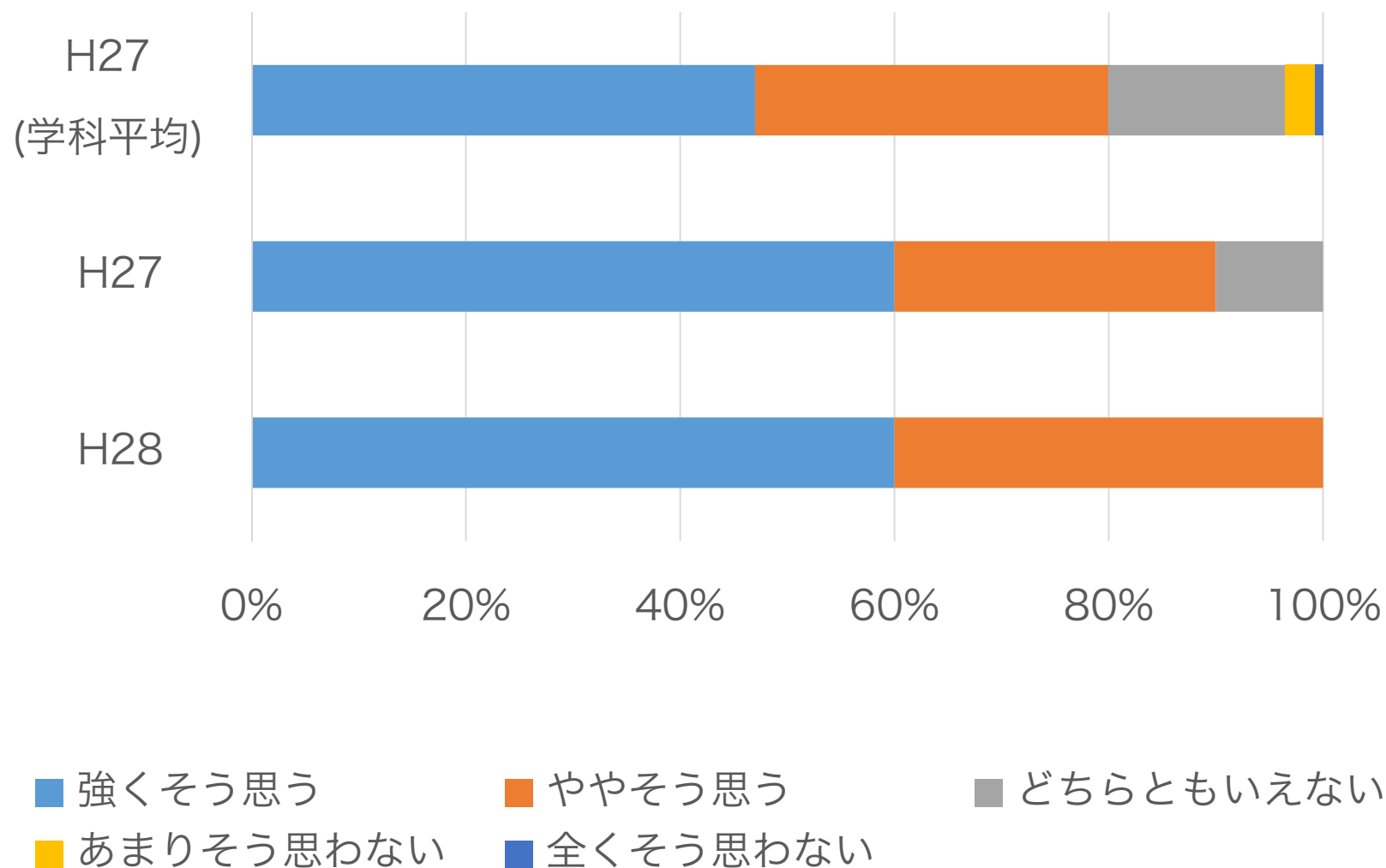
履修者数の推移



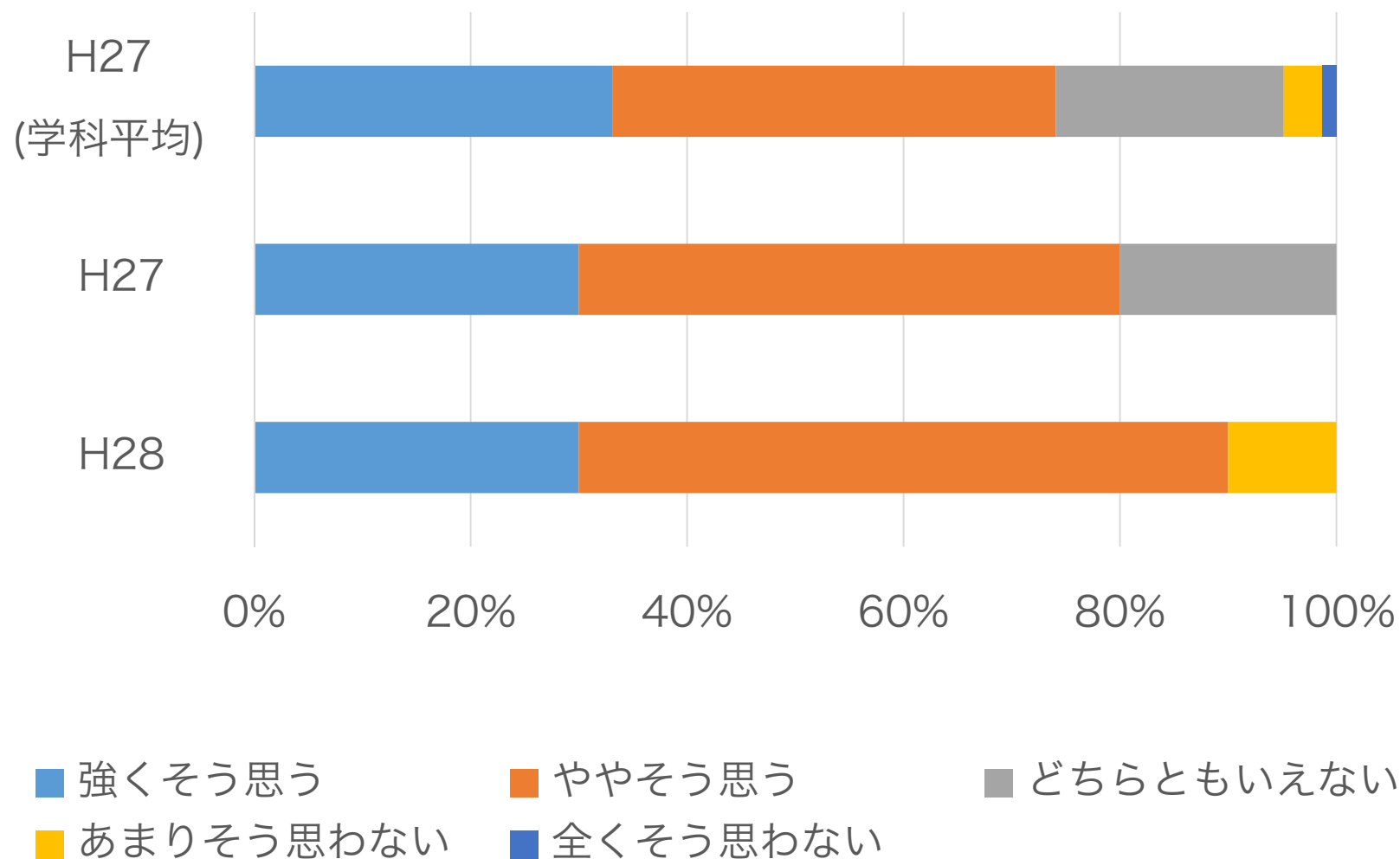
アンケート | 授業外学修時間（週平均）



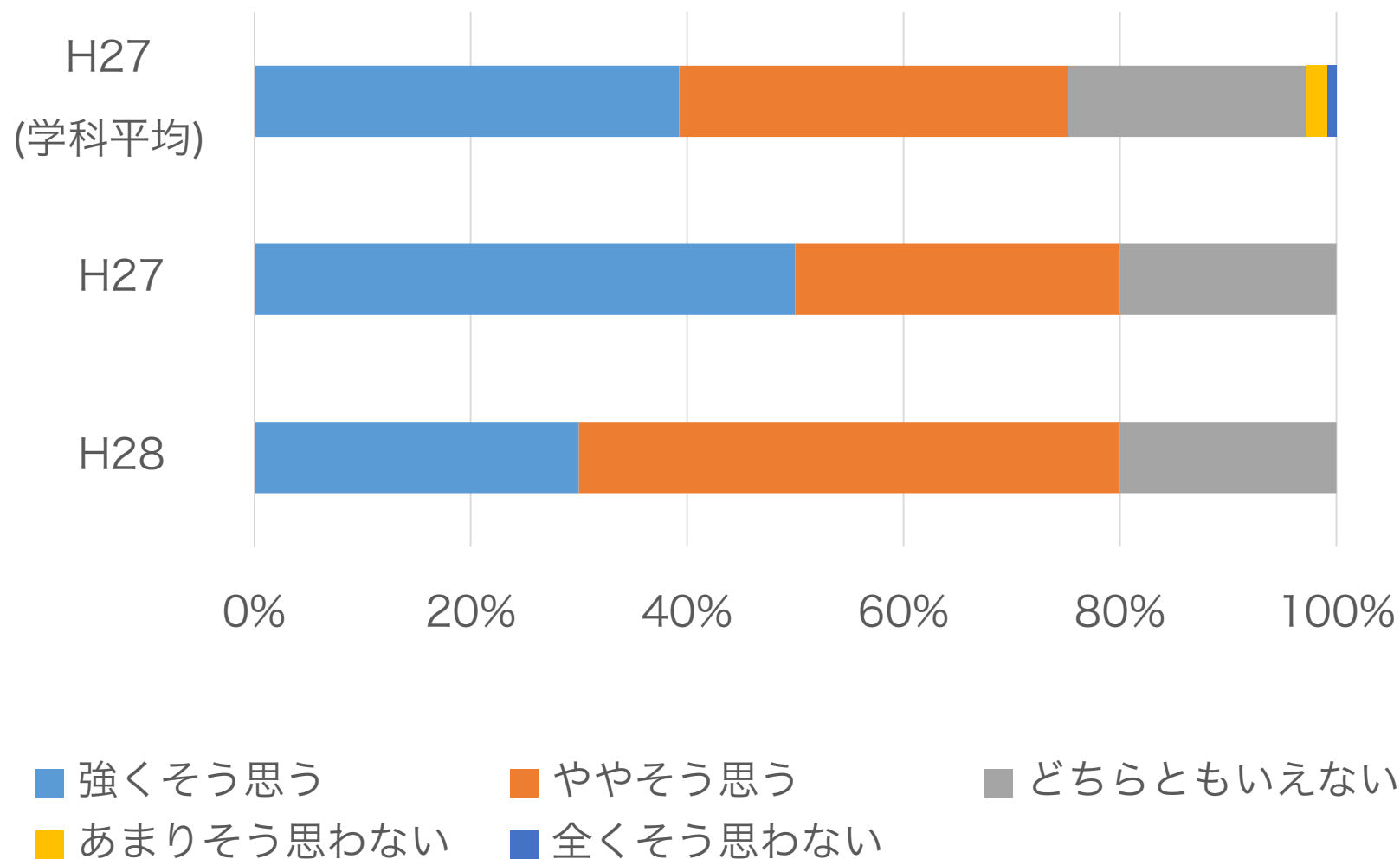
アンケート | 提示資料は効果的か



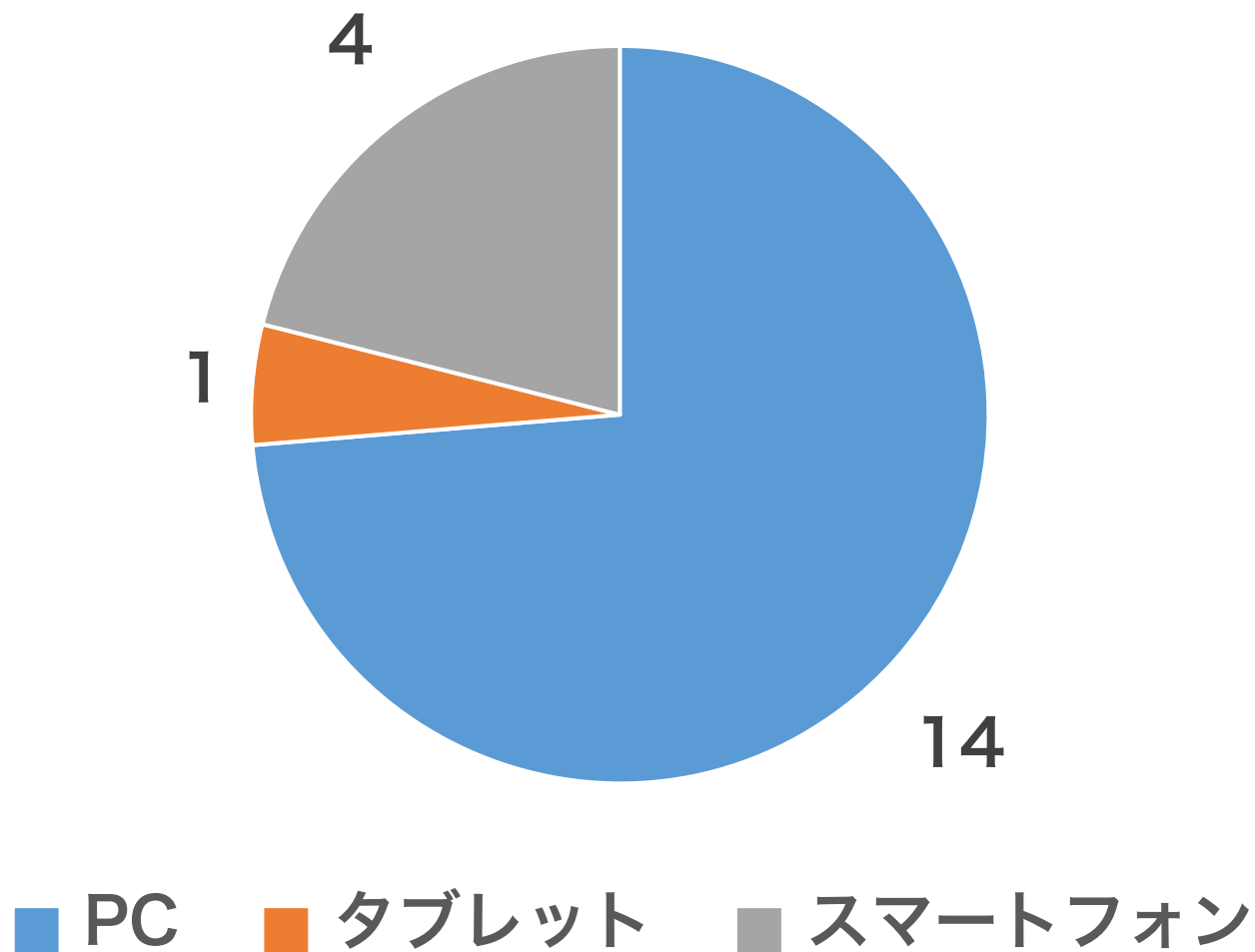
アンケート | 授業内容を理解したか



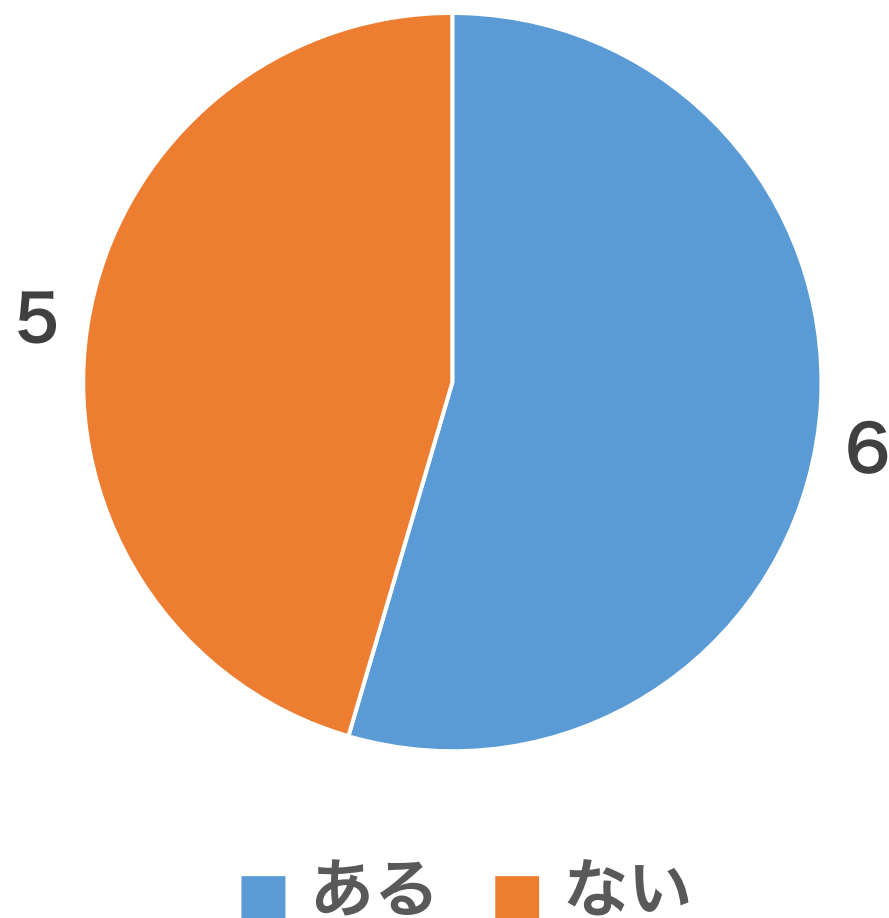
アンケート | 授業全体に満足したか



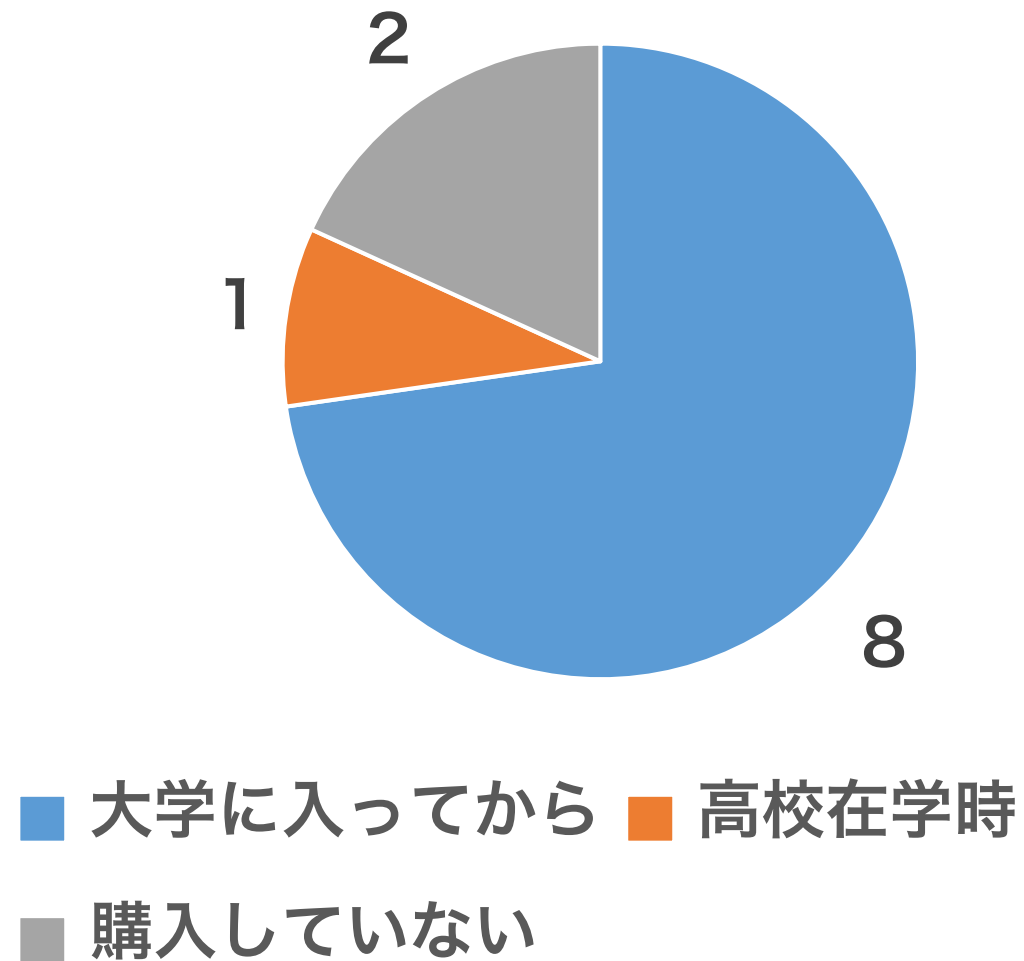
使用機器



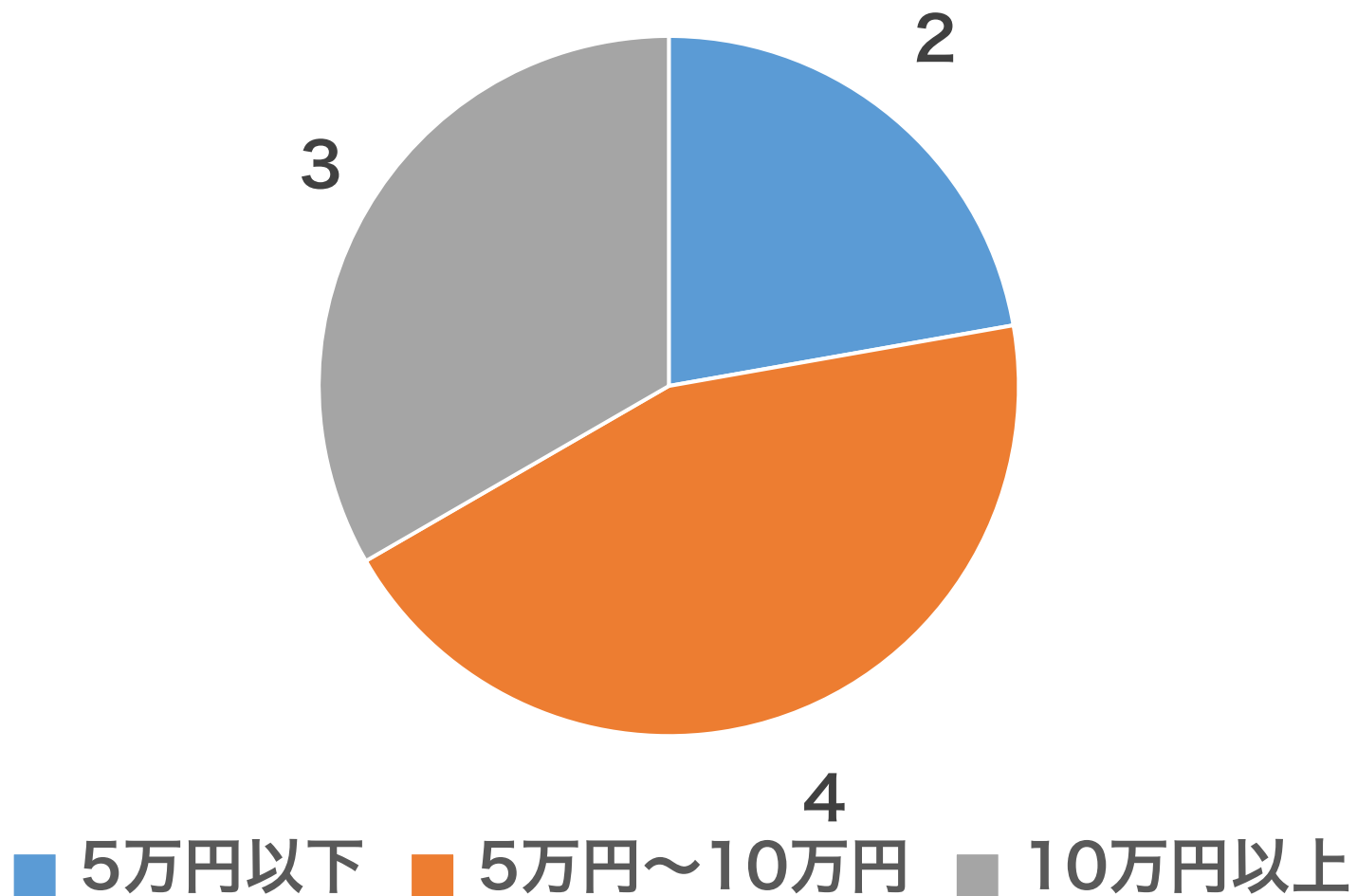
授業使用機器以外の自宅PC



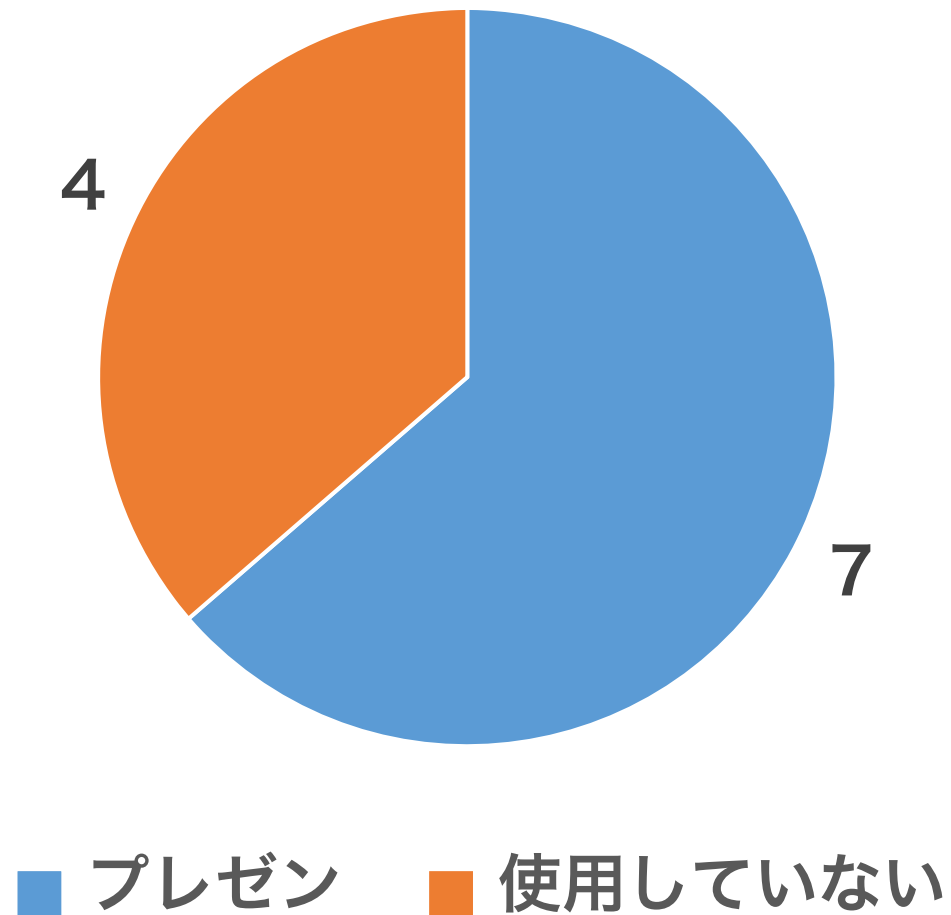
PC購入時期



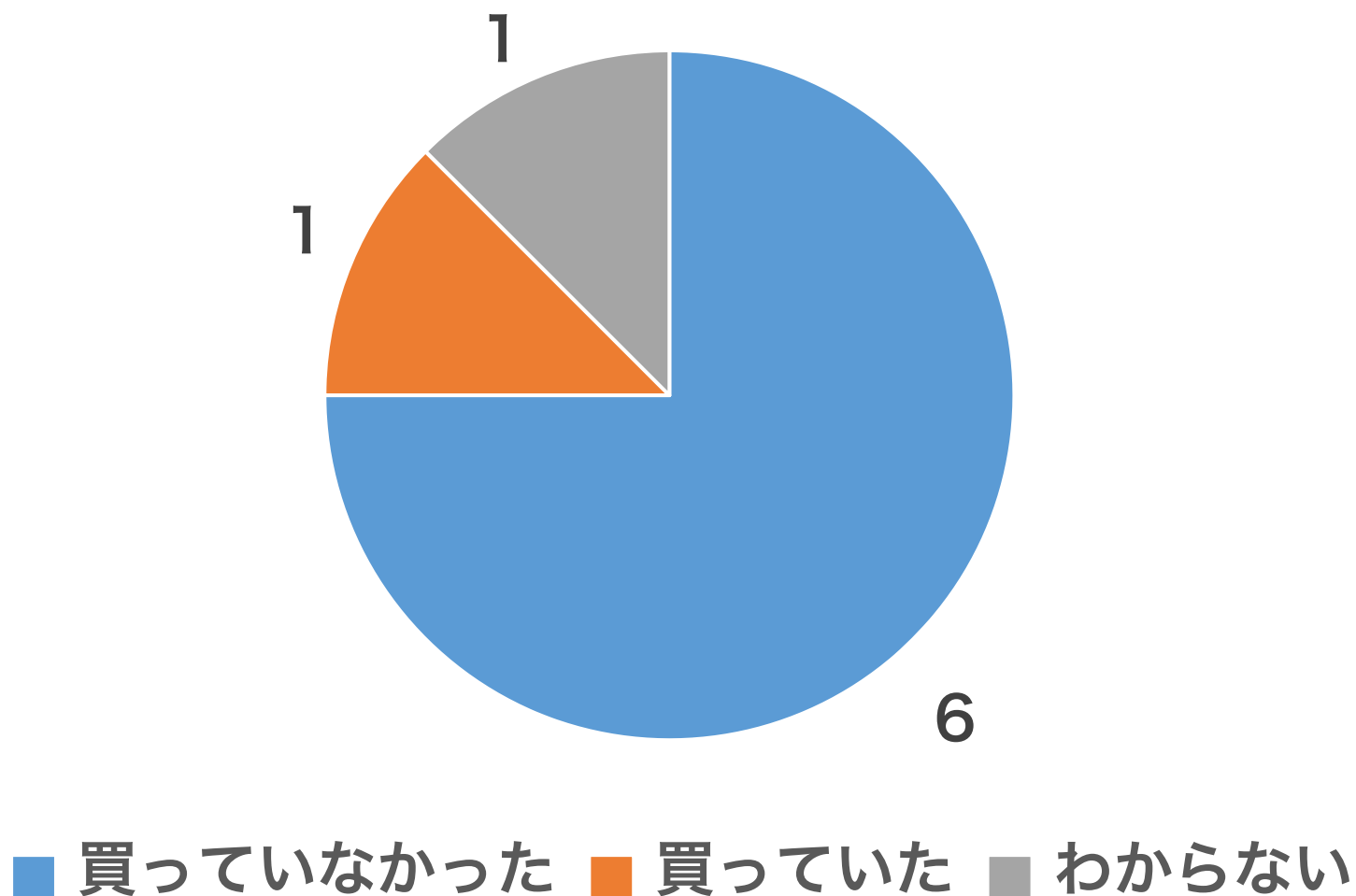
価格帯



他の授業でPCを使用したか



授業を選択しなかった場合



購入しなかった理由

- お金がなかった

(奨学金が入るのが遅い)

- 将来性を感じなかった

スマートフォン・タブレットの利用

- 機能が足りない
- スマホが古くてスペックが低い
- Excelはわりと使える
Wordは使いづらい
- セルの選択がしづらい
- 細かな修正には使える
- iPadの場合 | フリックなどの操作は大変
でも結構使える

**PCの方がいい
⇒サブとしてなら
有効に利用可能**

まとめと課題

まとめ

- BYOD利用での授業実施
- 現状ではPC無しでの授業は難しい
- スマートフォン・タブレットの利活用
- 意識変革

操作のトレース ⇒ PCで何ができるか

課題

- 情報リテラシーの必要性を理解
- スマートフォンのさらなる利活用
- 経済的に困難な学生への対応
- 他の授業での積極的なICT利活用